

第52回

どなたでも
参加できます

健康医学セミナー

顔面けいれん・三叉神経痛の 症状と診断・治療

講師 総合南東北病院

副院長
脳神経外科部長
脳卒中センター長

にしむら しんじつ
西村 真実



日本脳神経外科学会専門医、日本脳卒中学会専門医
日本脳神経血管内治療学会専門医

日時

平成29年 **2月18日** (土)

午後1時～2時 (開場12時30分)

場所

総合南東北病院 2階講堂

中高年に多くみられる「顔面けいれん」と「三叉神経痛」。顔面けいれんについては、女性の発症は男性に比べて2～3倍多い事がわかっています。

顔面けいれんは、目や口の周りがぴくぴくしたり、ひきつったりして目が開けられなくなったり口角が曲がってしまう状態となる病気です。また、三叉神経痛は喋ったり、ものを噛んだりすると下あごから頬に激痛が走る、あるいは冷たい風にあたったり顔をさわると、額、目や口の周りなどに激しい痛みが生じます。

これらは全く異なる病気のようにですが、頭の中で顔面の神経を血管が圧迫することによって起こるという発症のメカニズムは似ており、手術で根治出来る病気です。

今回のセミナーでは、当院で行っている顔面けいれん・三叉神経痛の治療について、わかりやすくお話しします。

*** ご予約不要、お気軽にご参加下さい**

お問合せ **総合南東北病院**

宮城県岩沼市里の杜1丁目2番5号 TEL: 0223-23-3151 (代表)



主催: 社会医療法人 将道会 総合南東北病院